



Linuxのこと

24春 はち



サーバーOSはどちらが優れるのか CentOS vs Ubuntu

- ・CentOSもUbuntuもどちらも派生OSである
- ・サポート期限や将来的なロードマップ、
かかっている目標などがちがう
- ・ちょっとだけ調べてみた



CentOS

- ・CentOSは「Red Hat Enterprise Linux」
- ・通称「RHEL」を元に作成されている。
- ・「RHEL」は現在商用業界のデファクトスタンダード
- ・商用ディストリとしては最も成功しているLinuxOS。
- ・RHELもCentOSもGPLなのでソースコードが入手できる



Ubuntu

- ・UbuntuのベースはDebian
- ・DebianはLinux界隈では、最大規模のコミュニティである
- ・Debianの目標は「ボランティアによってフリーでオープンなオペレーティングシステムを作成する」
- ・おおよそ2~3年スパンでバージョンアップがなされる。
- ・Debian自体の方向性は比較的保守的である。
- ・傾向として少々古いパッケージがチョイスされることとなる。



パッケージ管理の違い

- ・パッケージとは Linuxが採用しているアプリの配布形態

- ・CentOSはRPM+YUM

```
yum install xxxx
```

- ・Ubuntuはdeb+apt

```
apt-get install xxxx
```

- ・基本的にはどっちも同じような使い勝手



サーバーOSのシェア率

- ・日本国内はCentOSのほうが多い
- ・海外ではUbuntuのほうが多い

W3Techsで見るシェア率

- Ubuntu(+Debian)が6割
- CentOS(+RedHat)が2割
- その他が2割

Ubuntuのほうを利用可能なソフトウェアパッケージが多い。

CentOSのパッケージ数が約20000(EPELリポジトリ含む)に対して、Ubuntuは約47000のパッケージを利用できる



CentOSの最大の利点は・・・

- ・LTS(ロングタイムサポート)が10年というメリットがあった

- ・Ubuntuも18.xからLTSが10年になった

＝サポートの期間差がないのでますますUbuntuのシェアがあがるだろうと考えられる



Ubuntuの良いところ

- ・デスクトップ版とサーバー版がきっちり別れている
- ・Debianとのラグがない＝すぐ実装される
- ・MicrosoftがUbuntuを取り込み始めた
(Windows Subsystem Linux)
- ・FireWallのパッケージがOS標準(UFW)
- ・GPUを生かしたパッケージが豊富(あんま使わない)



Linuxの主要ディレクトリ

/bin・・・基本コマンドが格納されている

/dev・・・デバイスのファイルが格納されている

/etc・・・大半の設定ファイルがここにある

/lib・・・/binや/sbinを実行するために必要なファイル群

/lost+found・・・復元用のファイル格納(意図しないシャットダウンなど)

/media・・・CDやDVDをマウントするポイント

/opt・・・パッケージ管理システムのインストール先

/sys・・・ドライバ関連のプロセス格納先

/sbin・・・システム管理者用の基本コマンドが格納されている

/var・・・ログやキャッシュなど可変的システムデータを格納

Apacheのデフォルトは/var/www。

https://ja.wikipedia.org/wiki/Filesystem_Hierarchy_Standard